

1

父親のかかわりの現状

子どもの成長において父親のかかわりはとても重要である。本章では父親と子どものかかわりについての調査結果を見ていくことにする。父親のかかわりについては、育児や家事への関与といった直接的なかかわりと同時に、母親に対する育児への精神的サポートという視点からも調べてみた。具体的には、1. 育児への精神的サポート、2. 育児参加、3. 家事参加の3つである。1.の育児への精神的サポートとは、育児について母親から話を聞いたり相談にのったりするなど、精神的な側面から母親を支えるというかかわりである。2.の育児参加は実際に子どもと遊んだり、子どもを寝かしつけたりという具体的な育児行動としてのかかわりである。3.の家事参加とは、買い物や掃除など日常の家事におけるかかわりを示す。回答はすべて4段階評定でたずねた。なお全体の約97%は母親による回答で、父親自身の回答は1%であった。

精神的サポートでのかかわりは高く、家事参加が最も低い(図3-1~3)

まず育児への精神的サポートについて見てみると(図3-1)、全体に母親の評価は高い傾向にあることが示されている。肯定的な(「とても+まあそう思う」と答えた)母親はどの項目でも50%以上になっており、特に「子どもの1日の様子を聞いてくれる」「育児の悩みの相談にのってくれる」「子育てに関する考え方に共感してくれる」など、話し合いや相談という面でのサポートが多いことがうかがえる。ただ、「育児生活上のストレス

発散ができるように配慮してくれる」については否定的な(「あまり+全然そう思わない」と答えた)母親も40%を超えており、ストレス発散につながるような具体的なサポートは少ない傾向が見られた。

次に育児参加の結果(図3-2)を見てみると、項目によってばらつきがあることが示されている。最も頻度が高かったのは「子どもを叱ったりほめたりする」で、40.4%の父親が「ほとんど毎日」、また「週に3~5回」を含めると63.1%となっている。父親は叱ったりほめたりというしつけの中で子どもと多くかかわっていることがうかがえる。しかし一方で、「週に1~2回+ほとんどない」も33.3%おり、しつけは母親まかせという父親の存在もうかがえる。

逆に最も頻度の低い項目は「子どもと一緒に外で遊ぶ」であった。やはり子どもと外で遊ぶのは、土・日などの休日を利用してという父親が多いようだ。また「室内で遊ぶ」では「週に3~5回」以上の父親が40.8%いる一方で、半数以上が「週に1~2回」以下になっており、これもかなりばらつきが見られる結果となった。また「子どもを寝かしつける」では「ほとんどない」と答えた父親が48.5%いた。もちろん帰宅する時間が遅い、家にいる時間が短いという理由もあるが、「お風呂に入れる」「室内で遊ぶ」の結果と比べてもかなり低い数値である。父親が帰宅していても、寝かしつけるのは母親に任せている家庭が多いことがうかがえる。

図3-1 育児への精神的サポート（全体）

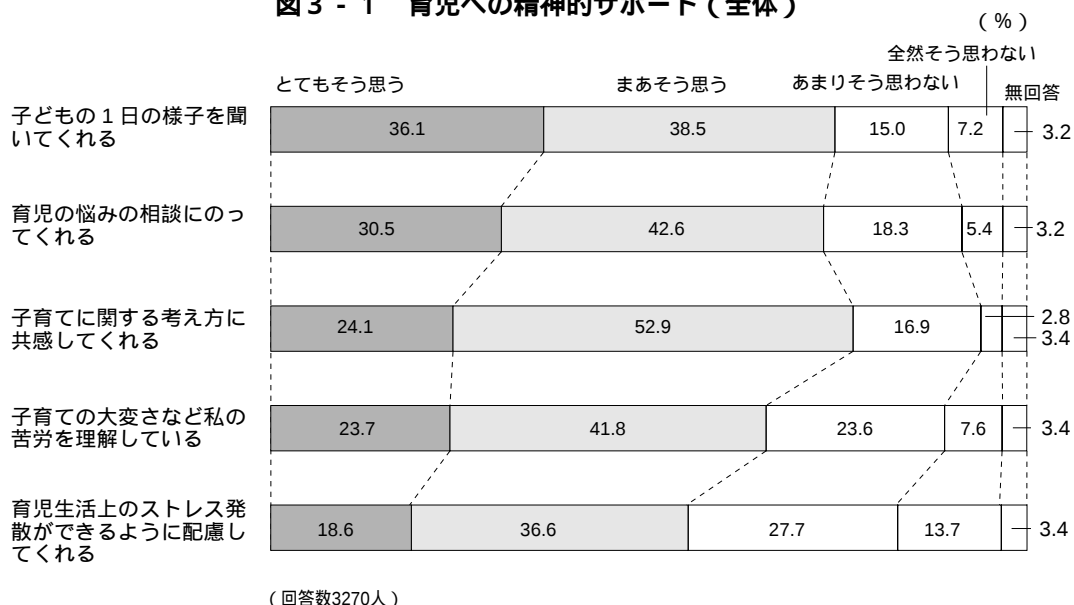
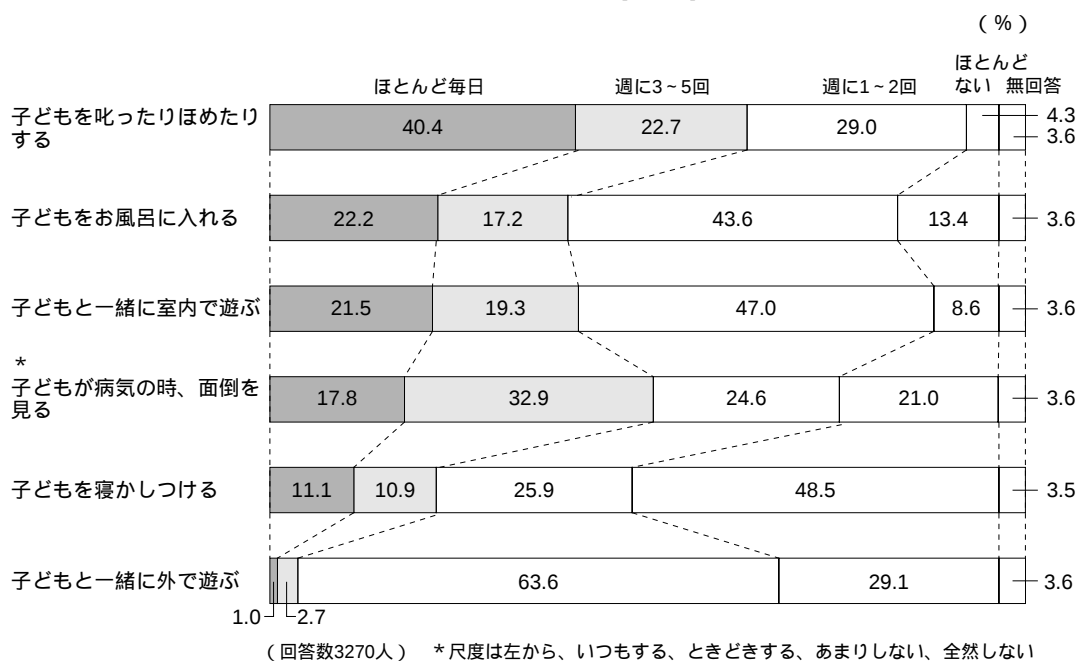


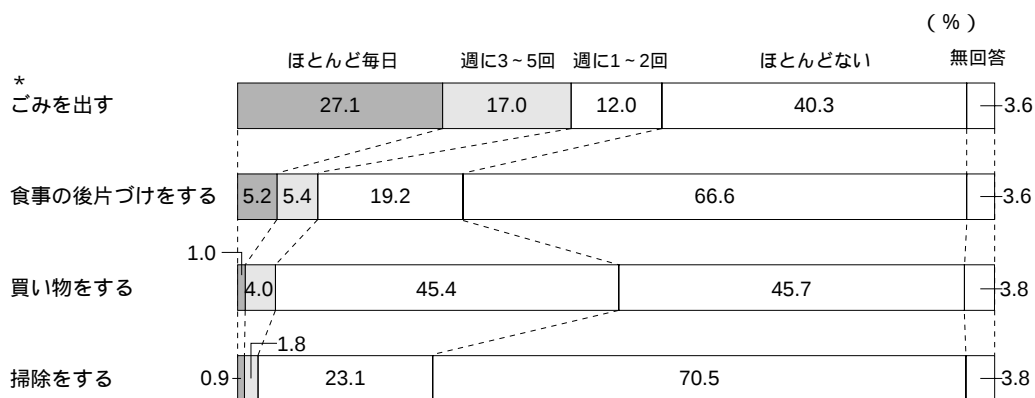
図3-2 育児参加（全体）



では家事参加はどうであろうか。図3 - 3を見ると、前述の精神的サポート、育児参加に比較して全体にかなり低い結果が示されている。父親にとって家事という領域は、子どもの育児や母親への精神的サポートに比べてかわりにくいものなのだろうか。最も頻度の低かったのは「掃除をする」であった。70.5%の父親が「ほとんどない」という状況が示されている。また「食事の後片づけをする」も66.6%の父親が「ほとんどない」とい

う結果であった。逆に最も頻度が高かったのは、「ごみを出す」である。これは「いつもする」という父親が27.1%で、「ときどきする」まで含めると44.1%になる。出勤前の力仕事としてごみ出しを行っている様子が見える。しかし「全然しない」という父親も40.3%存在している。また買い物も全体に低い、「週に1～2回」が半数近くという特徴が見られる。土・日は家族で買い物という家庭も多いのではないだろうか。

図3 - 3 家事参加（全体）



（回答数3270人） * 尺度は左から、いつもする、ときどきする、あまりしない、全然しない